

## 第 42 回 全日本クラブ卓球選手権大会 和歌山県予選会 開催要項

1. 開催日時 2023年5月14日(日) 午前9時～

2. 開催場所 ともづなスポーツセンター

3. 競技種目 [団体戦]

- |              |              |
|--------------|--------------|
| ①男子一般の部      | ④女子一般の部      |
| ②男子 30 才以上の部 | ⑤女子 30 才以上の部 |
| ③男子 50 才以上の部 | ⑥女子 50 才以上の部 |
| ⑦男子 65 才以上の部 | ⑧女子 65 才以上の部 |
| ⑨男子小、中学生の部   | ⑩女子小、中学生の部   |

※県代表枠各 1 チーム

4. 競技方法

\*種目①④: 監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4～6 名で編成する。

登録選手による 4 シングルス、1 ダブルスを編成し 1 番にダブルスをおき 3 点先取法により決定する。  
但し、1 番のダブルスに出場した選手は 2 番のシングルスには出場できない。

\*種目②⑤: 選手は 30 才以上で登録する。監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4～6 名で編成する。

登録選手による 4 シングルス、1 ダブルスを編成し 1 番にダブルスをおき 3 点先取法により決定する。  
但し、1 番のダブルスに出場した選手は 2 番のシングルスには出場できない。

\*種目③⑥: 選手は 50 才以上で登録する。監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4～6 名で編成する。

登録選手による 4 シングルス、1 ダブルスを編成し 1 番にダブルスをおき 3 点先取法により決定する。  
但し、1 番のダブルスに出場した選手は 2 番のシングルスには出場できない。

\*種目⑦⑧: 選手は 65 才以上で登録する。監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4～6 名で編成する。

登録選手による 4 シングルス、1 ダブルスを編成し 1 番にダブルスをおき 3 点先取法により決定する。  
但し、1 番のダブルスに出場した選手は 2 番のシングルスには出場できない。

\*種目⑨⑩: 監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4～6 名(小・中学生のみ)で編成する。

登録選手による 4 シングルス、1 ダブルスを編成し 1 番にダブルスをおき 3 点先取法により決定する。  
但し、1 番のダブルスに出場した選手は 2 番のシングルスには出場できない。

### 【試合順序】

①小・中学生 or 小学生同士 ②小学生 ③中学生 or 小学生 ④小学生 ⑤中学生 or 小学生  
(年令の低い者が年令の高い所への出場は認める。)

※全試合 1 1 点 3 ゲームマッチとする。

※シングルス・ダブルスの 2 試合に出場できるが、シングルスのみ 2 試合出場することはできない。

※両チーム、整列時に試合に出場する規定の 4 名の選手がその場に整列していなければならない

(選手不足の場合は団体戦として無効となる。)

※組み合わせは、各種目ともトーナメント又はリーグ戦による。

## 5. 競技ルール

- ① 現行の日本卓球ルールによる。
- ② 使用球は、(公財)日本卓球協会公認球 40mm. ホワイトプラスチックボールとする。
- ③ ゼッケンは、2023 年度(公財)日本卓球協会制定のものを使用すること。  
監督は、役職者章を腕に着けること。
- ④ 同じユニホームによる対戦を避けるため、2 種類以上のユニホームを持参すること。
- ⑤ ラバーをラケットに貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして、JTTA が公認した接着剤のみを使用すること。

## 6. 参加資格

- (1) 参加者は、2023 年度(公財)日本卓球協会加盟登録会員資格を有する者で構成するチームであること。  
監督、コーチ、アドバイザーは「役職者登録」選手は「選手登録」を行うこと。  
尚、本大会(全国大会)への申し込み〆切日以降の新規登録選手は認められない。  
また、日学連・高体連に加盟している者は、本大会に出場することはできない。  
(中学生はこの限りではない。)
- (2) 参加チームは、同じ都道府県で登録している役員、選手からなるクラブ単位と、都道府県代表として参加すること。
- (3) 出場者は(予選会も含めて)同一年度に1人1種目とする。
- (4) 卓球メーカーも参加できる。但し、ブランド名、商品名をチーム名に用いてはならない。クラブ名を用すること。
- (5) 男女各部について同一チームから複数のチームが出場することができる。
- (6) 予選出場選手と本大会の選手を、予選出場チーム間で入れ替えることはできない。  
尚、前年度ランキングチームの選手がチームを代えて予選に出場できるのは2名までとする。
- (7) 前年度ランキングチームは、そのランキング種目に、無条件出場できる。  
但し、無条件出場参加資格を持つチームが本大会の都道府県予選会に申し込みした場合やチーム名を変更した場合は、申し込んだ時点で無条件参加資格を放棄したものとして取り扱う。
- (8) 外国籍の選手〔日本で出生して引き続き3年以上日本に在住している者、あるいは引き続き10年以上日本に在住している者は除く〕は、1試合1名1ポイントに限って参加資格が得られる。  
但し、シングルス・ダブルスに重複して出場することはできない。
- (9) 本会及び(公財)日本卓球協会が認めた場合、特別チームを出場させることができる。
- (10) 本大会に出場した選手は、バタフライ第46回全国レディース大会代表チームの選手になることはできない。(但し予選会を除く)
- (11) 一般の部男女は、第73回全日本実業団選手権出場者(参加登録選手含む)は、出場できない。
- (12) 30才以上の部男女は、1994年(平成6年)4月1日以前に生まれた者で構成された単独チーム(30才以上)
- (13) 50才以上の部男女は、1974年(昭和49年)4月1日以前に生まれた者で構成された単独チーム(50才以上)
- (14) 65才以上の部男女は、1959年(昭和34年)4月1日以前に生まれた者で構成された単独チーム(65才以上)
- (15) 小・中学生の部男女は、各種の全国大会に出場した者でもよい。また年令の低いものだけで構成してもよい。
- (16) 前記(8)を適用する団体は、申込書にその旨を明記すること。(外国選手は※を備考欄に記載)
- (17) 前年度ランキングチームはそのランキング種目に無条件で出場できる。但し、無条件資格を持つチームが予選会に出場したり、チーム名を変更した場合、無条件資格を放棄したもののみならず。
- (18) 第42回以降の大会について、ランキングチームは、次の部に推薦出場することができる。
  - (イ) 一般の部ランキングチーム  
一般の部のみ推薦出場できる。
  - (ロ) 30才以上の部ランキングチーム  
30才以上の部もしくは、50才以上の部、いずれかを選択して推薦出場することができる。

但し、50才以上の部に推薦出場する場合、選手が4名以上同じであること。

(ハ)50才以上の部ランキングチーム

50才以上の部もしくは、65才以上の部、いずれかを選択して推薦出場することができる。

但し、65才以上の部に推薦出場する場合、選手が4名以上同じであること。

(ニ)65才代の部ランキングチーム

65才以上の部のみ推薦出場できる。

(ホ)小・中学生の部

小・中学生の部のみ推薦出場できる

7. 参加料 団体戦1チーム 種目①～⑦ 6,000円 種目⑧～⑫ 4,000円

8. 申込方法 別紙申込書に所定事項を明記し、郵便、FAX、メール何れかの方法にて申し込むこと。

【申込先】〒640-8155 和歌山市九番丁4-1 ラウムズ和歌山九番丁205号室 和歌山県卓球協会

FAX. 073-432-6939 e-mail watakukyo@jupiter.ocn.ne.jp

注記：2023年度加盟登録手続き未了の者は、別に定める日本卓球協会加盟登録システムより  
加盟手続きをし、所定の加盟登録金を振り込むこと

9. 参加料・加盟登録金の納入方法

①加盟登録金 加盟登録システムにより指定の方法にて支払うこと。

②参加料等 銀行振込にて下記口座宛、納入のこと。

【振込口座】 紀陽銀行 和歌山中央支店 普通預金 329882 和歌山県卓球協会
---

【注記】 ①上記振込により発行された振込金領収書をもって受領書に代えます。

従って、本会より受領書の発行は致しません。

②持参または郵送による参加料・加盟登録金の納入受付は一切致しません。当日も扱いません。

従って、エントリーは参加料・加盟登録金の振込者に限りますので予めご了承下さい。

10. 申込期日 2023年5月1日(月)

11. 組み合わせ 本会において作成する。本会ホームページにも掲載します。

12. 全国大会参加枠及び全国大会参加料

種目①～⑦ 男女各1チーム 参加料3万円

種目⑧～⑫ 男女各1チーム 参加料2万円

13. 全国大会日程

日 程 2023年8月31日(木)～9月3日(日)

会 場 広島県：広島市・広島県総合体育館(広島グリーンアリーナ)

14. その他

競技中に万一事故のあった場合、主催者側は責任を負いません。

病気、事故に備えて各自保険証を持参して下さい。

けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。

選手の健康管理は、本人の責任といたします。健康診断などを事前に受けること。

以 上